

段ボールコンポストの使い方

段ボールコンポストは材料が安く、手軽に始められ、電気代もかからないエコな堆肥化方法。段ボールコンポストで生ごみをリサイクルすることで一日あたり 450g ものごみ減量に効果があります。みなさんも家庭菜園等に利用できるエコな堆肥をつくってみませんか？

準備するもの

- ・段ボール 2箱
- ・段ボールの底を浮かせるもの(木片やペットボトルなど)
- ・ピートモス 15ℓ ・もみ殻くん炭 10ℓ
(いずれも園芸店、ホームセンターなどで購入できます。)
- ・ヘラやシャベル(かくはん用)



1 段ボールを組み立てる

- ・段ボールの底のすき間をテープでふさぐ。
- ・底は補強のため段ボールを二重にする。

2 基材を入れる

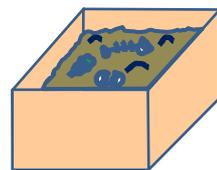
- ・ピートモスともみ殻くん炭を段ボールへ3：2の割合で入れ、水を加えてよく混ぜる。(水分は基材を握って崩れない程度)

3 通気性を良くする

- ・段ボールからは分解に伴う多量の水分が全面から発生するため、底上げし周りの通気性を良くしましょう。

4 生ごみを入れる

- ・生ごみは500gまでを目安にできるだけ細かくして入れましょう。
- ・ハエなどの虫が入らないように、洗濯ネットや使い古いのTシャツでフタをします。
- ・容器は15℃以上のところに設置します。(10℃以下だと分解されにくい)寒いときはお湯を入れたペットボトル等で温めると効果的です。



5 かき混ぜる

- ・生ごみを入れる度(入れなくても、一日1回)、箱の中をかき混ぜて空気を取り入れます。基材の水分にも注意します。

6 堆肥として使う

- ・3ヶ月ぐらい続けたら、生ごみの投入をやめ、時々かくはんします。
- ・2週間から1ヶ月程度熟成させたら堆肥として使用できます。(プランターの1/5)